

イベント報告

5月5日火曜日、経堂コルティ屋上庭園にて、第7回となるとしょかんキャラバンを開催いたしました。

あかちゃんとなのしむおはなし会、本のおたのしみぶくろ、出張おはなしのへやなどのご家族で楽しめるプログラムに、総勢100名以上の方にご参加いただきました。次回の開催もお楽しみに。



展示コーナーのご案内

一般展示
うみへ やまへ
展示期間：7/17～9/16

ビジネス展示
相続を調べる
展示期間：6/19～8/19

展示場所は変動する場合がございます。ご了承ください。
展示場所：ビジネスコーナー付近のブックトラック

経堂図書館
ニュース

本の駅

2026年7・8月号
通巻87号



2026年7・8月号
通巻87号

自然の恵み

山の日はいまから10年前の2016年に制定された比較的新しい祝日です。当初は盆休みとつなげやすい8月12日が候補にあがっていたようですが日本航空123便の事故があったため、最終的に8月11日に決定しました。漢字の8が末広がりの山の形、11が立ち並ぶ木々を連想させるからだそうです。

大人のための朗読会

7/2 (木) 10:30~
「木洩れ陽」 のみなさん

《演目》
「猫の部屋」 近藤史恵
「猫の事務所」 宮沢賢治

8月の大人の朗読会はお休みです

**開催場所：経堂地区会館本館
2階 第三会議室**

開場時間：10：15
参加無料、事前申込不要、先着15名までです。
開催が急遽中止・変更になることもあります。

休館日のご案内

7月16日(木) 8月20日(木)

■Instagram



■ホームページ
(世田谷区立図書館HP内)



■Instagram



■ホームページ
(世田谷区立図書館HP内)



世田谷区立経堂図書館
世田谷区宮坂3-1-30
TEL 5 4 5 1-0 0 7 1 FAX 5 4 5 0-1 0 8 8

世田谷区立経堂図書館
世田谷区宮坂3-1-30
TEL 5 4 5 1-0 0 7 1 FAX 5 4 5 0-1 0 8 8

世田谷区立経堂図書館
世田谷区宮坂3-1-30
TEL 5 4 5 1-0 0 7 1 FAX 5 4 5 0-1 0 8 8

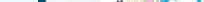
イベントのお知らせ

大人向け創作紙芝居
日時：7月18日（土）

15:30~16:45
(10分前から開場)
会場：経堂地区会館

定員：20名（申込先着順）
費用：無料

お問い合わせは経堂図書館まで



大宅壮一文庫×経堂図書館
なつやすみ！平成クイズを

作ってあそぼう！

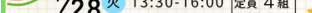
今とは少し違う平成を知って家族や友達にクイズを出しちゃおう！本や雑誌を

日時：7月28日（火）13：30～16：00

定員：4組（申込先着順）
対象：小・中学生 保護者同伴
費用：無料

会場：経堂図書館
お問い合わせは経堂図書館まで

なつやすみ！
平成クイズを
作ってあそぼう！


 開催日時 7/28 火 13:30-16:00 定員 4組

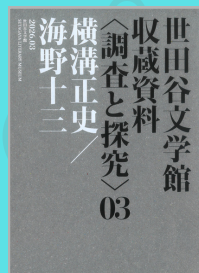
対象	小・中・中学生 保護者同伴	みんなが生まれる少し前、 お父さんやお母さんが子どもの頃、 今とは少し違う平成を知って 家族や友達にクイズを出しちゃおう！
会場	陸奥図書館	
持ち物	氷分補給用に水の閉まる 飲み物	

対象	小・中・中学生 保護者同伴	みんなが生まれる少し前、 お父さんやお母さんが子どもの頃、 今とは少し違う平成を知って 家族や友達にクイズを出しちゃおう！
会場	陸奥図書館	
持ち物	氷分補給用に水の閉まる 飲み物	



地域資料の紹介

『世田谷文学館 収蔵資料〈調査と探究〉03—横溝正史/海野十三』



編・出版/世田谷文学館
出版年/2026年
請求記号/GA91

世田谷文学館が所蔵している横溝正史の未刊行日記と海野十三から横溝正史への書簡、貴重な資料やご家族へのインタビューなど、写真も多数収録。ページ数に対してとても密度が高く、読み応えも満足度も抜群です。

はっぴいコーナー

このコーナーでは、世田谷区の障がい者施設で作られた商品、「はっぴいハンドメイド」の紹介をします！

ほほえみ経堂

ビーズブレスレット

素敵なビーズ配色のブレスレットです。小さなリボンがついてアクセントになっているものもありバリエーション豊かです。施設の方が一つ一つ丁寧に作っています。



¥300

図書館員からのおすすめ本

『残照の頂—山女日記 統一』

湊かなえ著 幻冬舎 2021年【F1み】



山に登るのが趣味で全国の山を登った谷崎綾子。長野県の後立山連峰に登るため、朝早くから友人の間宮麻美子を連れてやってきた。悩みや愚痴を言いあえる仲間ができて綾子は楽しくなる。主人と登るはずだった後立山連峰…綾子の思いが実ったかのように空にはきれいな星が輝き天の川がでてきた。そして次の日には鹿島槍ヶ岳へと登る。ここから視点は麻美子に代わり過去が次々と明らかになっていく…。

『ハヶ岳南麓から』

上野 千鶴子著 山口 はるみイラスト
山と溪谷社 2023年【F1う】



山梨⇄東京の二拠点生活のリアル。うへのちづこ版「森の生活」美しい山々、快適な夏の気候、美味しい野菜。その一方、厳しい自然、地域のコミュニティ、周囲と自身の高齢化、免許返納後の移動手段 etc... 問題はいろいろ。定年後の憧れ、地方移住の現実。それらをじっくり観察し、生きる道を思索する著者。美しいイラストにも心を奪われます。

テーマ：山

『曾根崎心中』

近松門左衛門原作 角田光代著
リトルモア 2025年【F1か】



醤油屋の手代・徳兵衛と遊女・お初が義理や騙しによる追い詰められた状況から愛を貫くために梅田の曾根崎天神の森で心中（相対死）を果たす。この本の有名な一節「この世のなごり、夜もなごり」が物語を引き込みます。徳兵衛目線は近松門左衛門が書き、お初を角田光代が書いています。

『フォンターネ—山小屋の生活—』

パオロ・コニェッティ著 関口英子訳
新潮社 2022年【F0コ】



30歳になった作家はエネルギーが枯渇し、途方に暮れていました。窓からミラノの白けた空を眺めながら時間をやり過ごす日々。かつて山で過ごした少年の頃の自分を探しに行こうとアルプスの山小屋を借りて暮らします。放牧地を観察し、風と水の音を聞き、ゆっくりと何事もない充実した時間が流れます。最高に贅沢な時間の使い方だと思います。

『死に山—世界—不気味な遭難事故《ディアドロフ峠事件》の真相—』

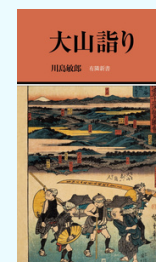
ドニー・アイカー著 安原和見訳
河出書房新社 2018年【786あ】



1959年冷戦下のソ連・ウラル山脈で起きた遭難事故、ディアドロフ峠事件の真相に迫るドキュメンタリー。登山に慣れた9名の大学生パーティー全員が落命。テントから1キロ半ほど離れた場所で、通常では考えられないような不可解な形で遺体が発見された謎に迫ります。巻末の解説もおもしろいので最後まで読んで欲しい本。

『大山詣り』

川島敏郎著 有隣堂 2017年【163か】



小田急線で一本でいくことが出来る伊勢原からほど近い大山。ポスターなどをよく見かけるので身近に感じている人も多いかと思います。古くは万葉集に歌われ、江戸時代には庶民の信仰を集めた大山の歴史を深掘りする一冊です。

行楽に行くとき、街中で名前を見かけたとき、詳しい歴史を知っていると普段よりもっと楽しくなるかもしれません。